

令和7年2月25日

学校だより 「花里の子」

令和6年度 第24号

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

もうすぐ卒業・・・ 校長室で会食しながら6年間をふり返りました



3月19日は、卒業式です。1月14日～2月21日まで卒業を目前に控えた6年生と校長室で会食をしました。1回に3～4人の子どもたちがやってきます。はじめは、まるで初めて校長室に入るように緊張していますが、食べ始めるといつもの6年生にもどります。「先生、結婚しているの?」「一番優秀な先生は誰?」思い思いの質問が飛んできます。その合間をぬって、「一番思い出に残っている行事は何?」「もう一度戻れるとしたら何年生に戻りたい?」「部活はもう決めた?」と私からも質問をします。飾ることなく答えてくれる素直な子どもたちです。「今、楽しい?」と尋ねると、「楽しい!!」とどの班も答えは同じでした。どんな時も前向きな子どもたちです。

そんな6年生が、2月の全校集会で谷川俊太郎さんの詩「生きる」の群読を全校生に発表しました。

生きる
生きていくとどういふこと
いま生きていくとどういふこと
谷川俊太郎

「生きる」全文を紹介



後書きには、「〈いま〉の意識」として、作者の谷川さんの思いが紹介されています。

〈いま〉は物理的には一瞬でありながら、心理的には一瞬にとどまらないひろがりをもっています。とらえ難い時間ですが、それ故に〈いま〉にはどこかドラマチックな響きがありますね。始まりも終わりも分からない、悠久の時間をいわば輪切りにする、そんなイメージで生きている〈いま〉には、そこで何が起きている、誰が何をしても、その短い時間の中に〈永遠〉をはらんでいる・・・

6年生の小学校生活も残り少なくなりました。〈いま〉を思いっきり自分らしく過ごしてほしいと思います。

新しい1年生がやってきました！

卒業式に向けて、小学校生活のまとめをしている6年生がいる一方で、4月の入学を心待ちにしている子どもたちもいます。2月20日には、1日入学と入学説明会がありました。

1年生の子どもたちは、生活科の学習で「1日入学で、どのようにして新しい1年生をおもてなしするか」を話し合ってきました。プレゼントするメダルを作ったり、折り紙でカエルを折る練習をしたり、新しい1年生が喜ぶ顔を想像して、一生懸命に準備してきました。



令和7年度の新入生は、現在のところ68名です。3月に卒業する6年生は56名ですので、また少し人数が増える予定です。

長縄大会inはなさと

体育委員会主催の「長縄大会」が行われました。これまでクラス記録を更新し続けてきました。けれど、この大会は本番の記録で勝負です。どのクラスも練習の成果が発揮できるように声をかけ合っていました。



1位 6年2組
273回
2位 5年2組
3位 6年1組



行事予定は、
GoogleClassroomにて
配信しています。

伊丹市小学校の長縄大会「みんなでジャンプ」でも

6年生の部 第4位 6年2組 256回
3年生の部 第3位 3年1組 263回

という成績を収めています。

どのクラスも自分たちのクラスの記録更新を目指して頑張りました。失敗しても、励ましの声が聞こえてくる素敵な長縄大会でした。